

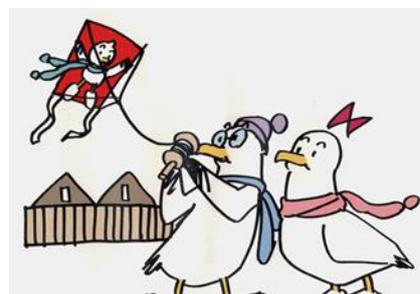
『第178回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2019年 10～12月期の実績 2020年 1～3月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	108社
(業種別内訳)	製造業 31社	卸売業 9社	
	小売業 23社	サービス業 13社	
	建設業 21社	不動産業 11社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

☆ 目次 ☆

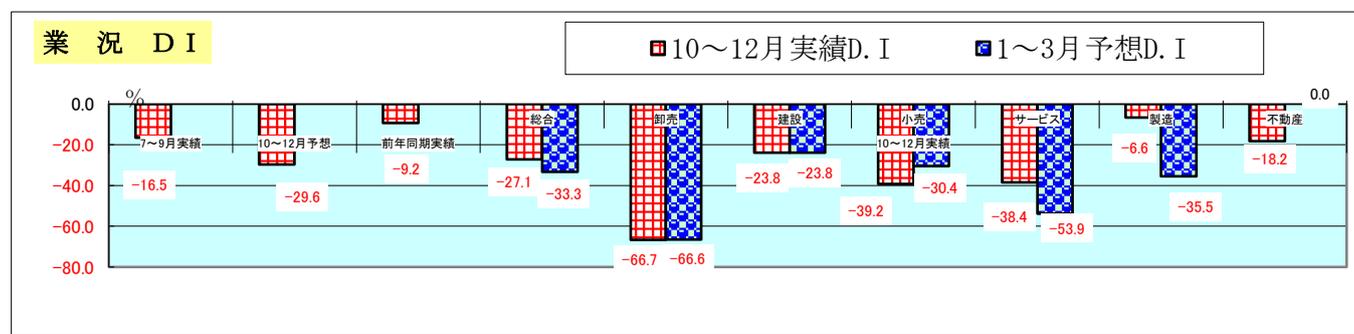
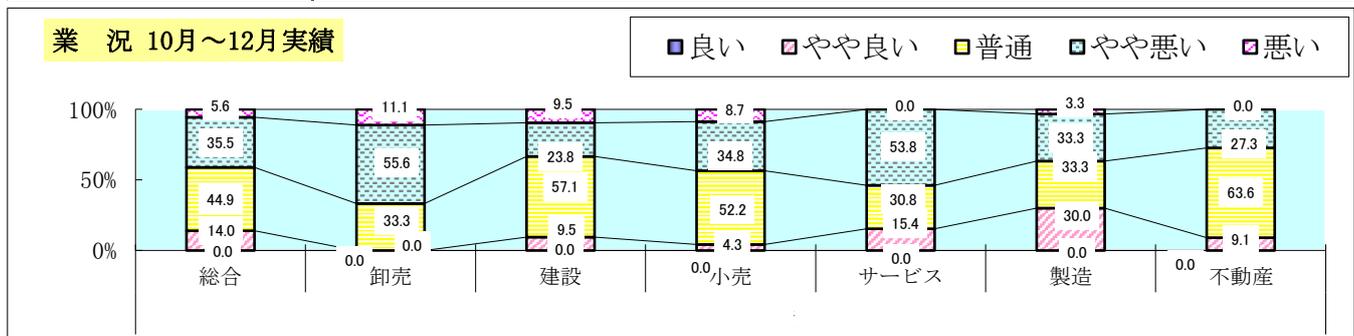
概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 … 「2020年（令和2年）の経営見通し」①	P. 19
特別調査 … 「2020年（令和2年）の経営見通し」②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	10～12月実績D. I	1～3月予想D. I
7～9月実績							-16.5	
10～12月予想							-29.6	
前年同期実績							-9.2	
10～12月実績	総合	0.0	14.0	44.9	35.5	5.6	-27.1	-33.3
	卸売	0.0	0.0	33.3	55.6	11.1	-66.7	-66.6
	建設	0.0	9.5	57.1	23.8	9.5	-23.8	-23.8
	小売	0.0	4.3	52.2	34.8	8.7	-39.2	-30.4
	サービス	0.0	15.4	30.8	53.8	0.0	-38.4	-53.9
	製造	0.0	30.0	33.3	33.3	3.3	-6.6	-35.5
	不動産	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2	0.0



○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’19年10月～12月期の業況判断D. I. は△27.1で7～9月期（前期）と比べ10.6ポイント悪化、前年同期比でも17.9ポイント悪化を示しました。

今期売上判断D. I. は、前期実績D. I. △11.0から11.2ポイント下降し、前回調査における今期の予測D. I. △18.3からも3.9ポイントの悪化を示しました。

’20年1月～3月期（来期）の予想業況判断D. I. は△33.3と、今期実績比6.2ポイントの悪化が予想されており、経営者のマインドは業況の下降と見えています。

○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫地域・中小企業研究所調べ）

’19年10～12月期（今期）の業況判断D. I. は△7.8、前期比3.1ポイント低下と、2四半期続けての低下となった。

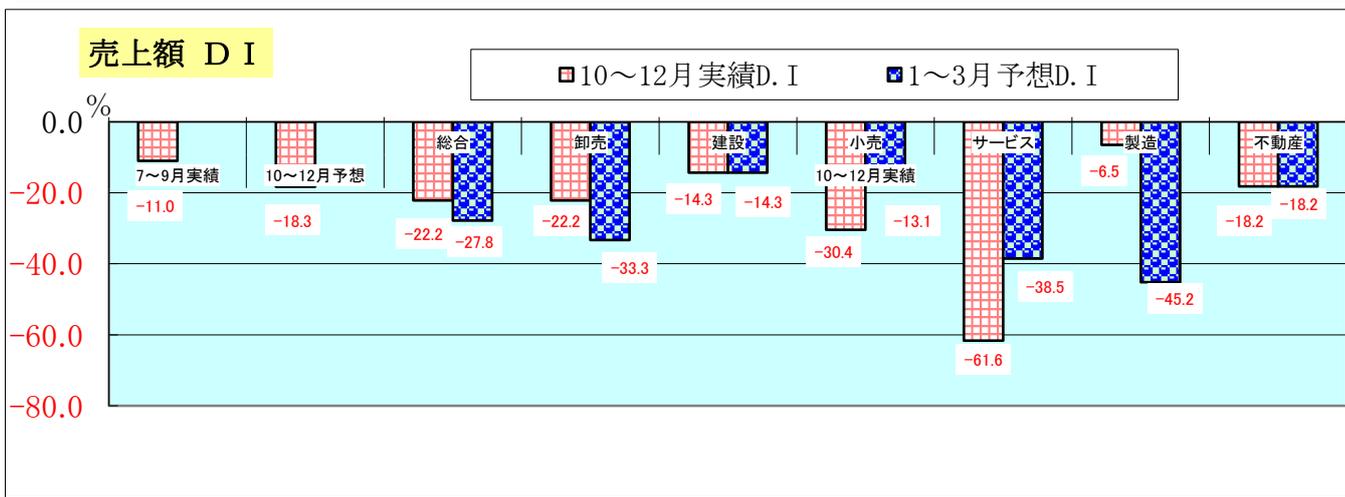
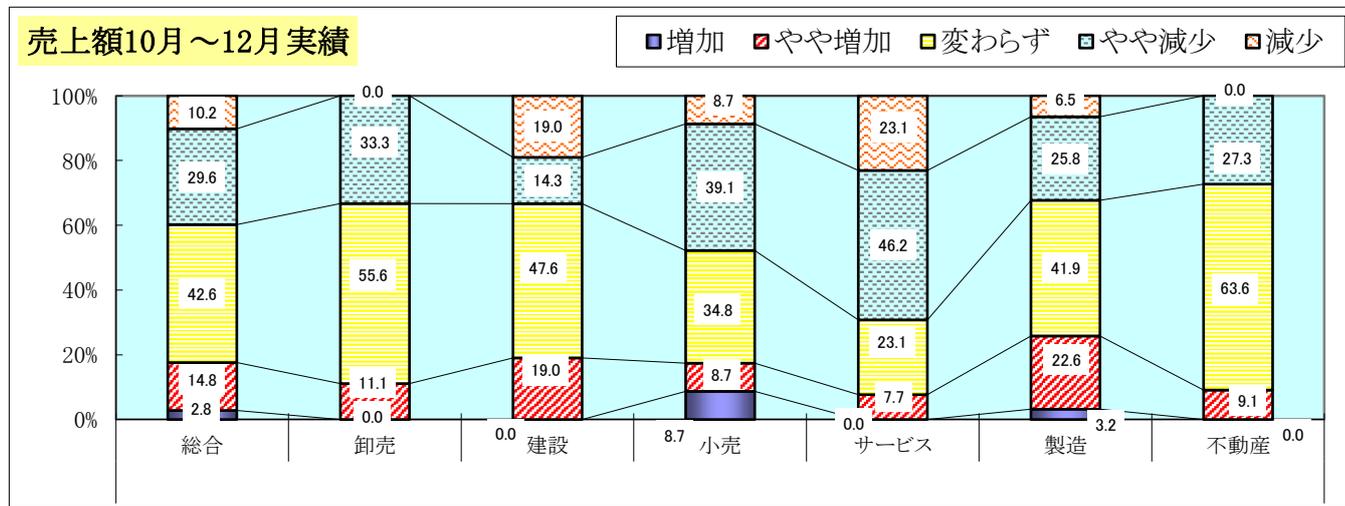
収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△9.4と前期比5.9ポイント低下、同収益判断D. I. は△11.9と同5.8ポイント低下した。販売価格判断D. I. は同2.7ポイント上昇してプラス6.7となった。人手過不足判断D. I. は△27.4と前期比0.4ポイント人手不足感が強まった。設備投資実施企業割合は0.3ポイント低下して22.6%となった。業種別の業況判断D. I. は、全6業種で低下した。地域別では、全11地域中、改善は4地域にとどまり、7地域が低下した。

’20年1～3月期（来期）の予想業況判断D. I. は△12.3、今期実績比4.5ポイントの低下を見込んでい。業種別には、全6業種で、地域別には全11地域で、それぞれ低下する見通しにある。

2. 前期に比べた動き

(1) 売上額の動き

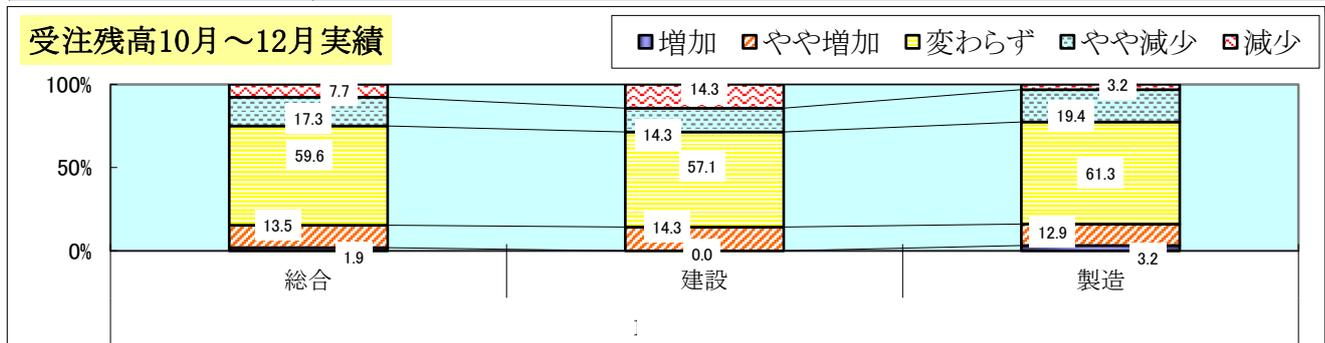
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D.I	1~3月予想D.I
7~9月実績							-11.0	
10~12月予想							-18.3	
10~12月実績	総合	2.8	14.8	42.6	29.6	10.2	-22.2	-27.8
	卸売	0.0	11.1	55.6	33.3	0.0	-22.2	-33.3
	建設	0.0	19.0	47.6	14.3	19.0	-14.3	-14.3
	小売	8.7	8.7	34.8	39.1	8.7	-30.4	-13.1
	サービス	0.0	7.7	23.1	46.2	23.1	-61.6	-38.5
	製造	3.2	22.6	41.9	25.8	6.5	-6.5	-45.2
	不動産	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2	-18.2



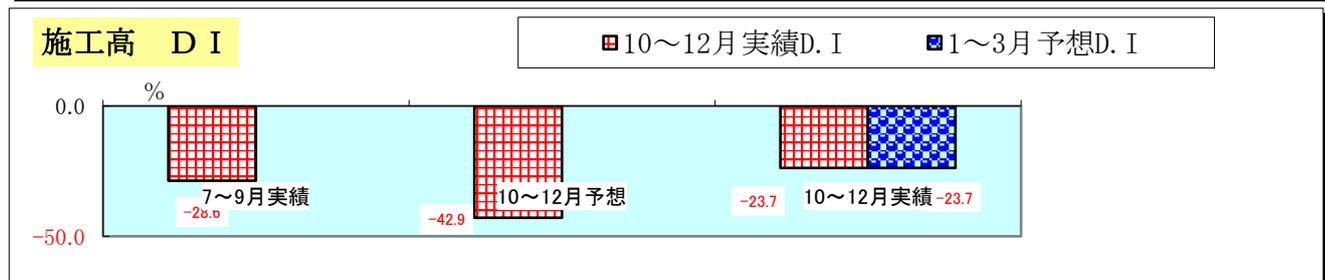
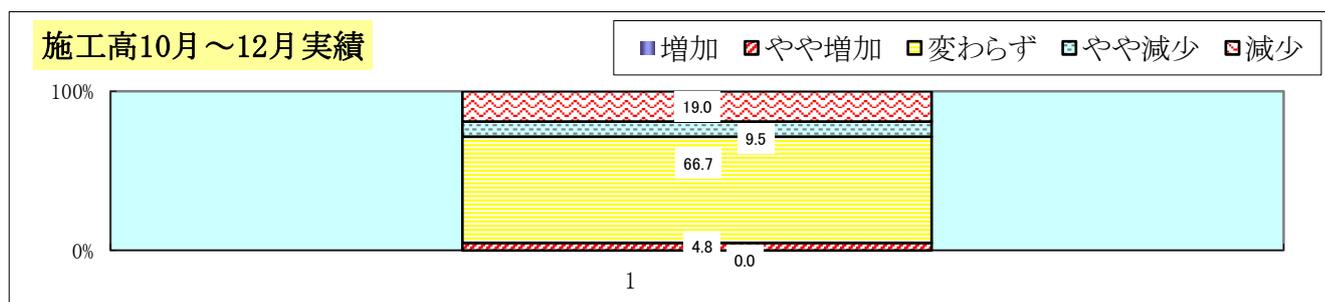
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の17.6%、「減少」「やや減少」した企業は39.8%を示し、D.I.は△22.2となりました。
- 今期売上判断D.I.は、前期実績D.I.△11.0から11.2ポイント下降し、前回調査における今期の予測D.I.△18.3からも3.9ポイントの悪化を示しました。
- 種別の今期D.I.は、全ての業種で売上額の減少を示している。サービス業で△61.6ポイント、小売業で△30.4ポイント、卸売業で△22.2ポイントと大幅な減少となった。
- 1~3月期の売上額予想D.I.は△27.8で、10~12月実績対比5.6ポイントの減少と予想しています。

(2) 受注残・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D.I	1~3月予想D.I
7~9月実績							-5.7	
10~12月予想							-19.2	
10~12月実績	総合	1.9	13.5	59.6	17.3	7.7	-9.6	-32.7
	建設	0.0	14.3	57.1	14.3	14.3	-14.3	-23.8
	製造	3.2	12.9	61.3	19.4	3.2	-6.5	-38.7



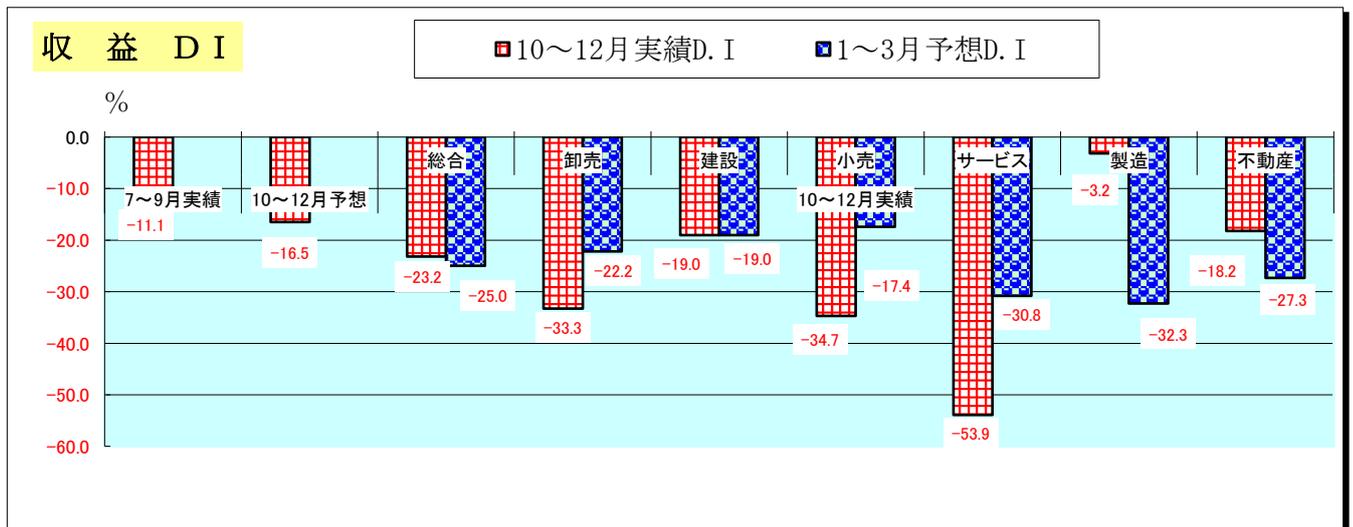
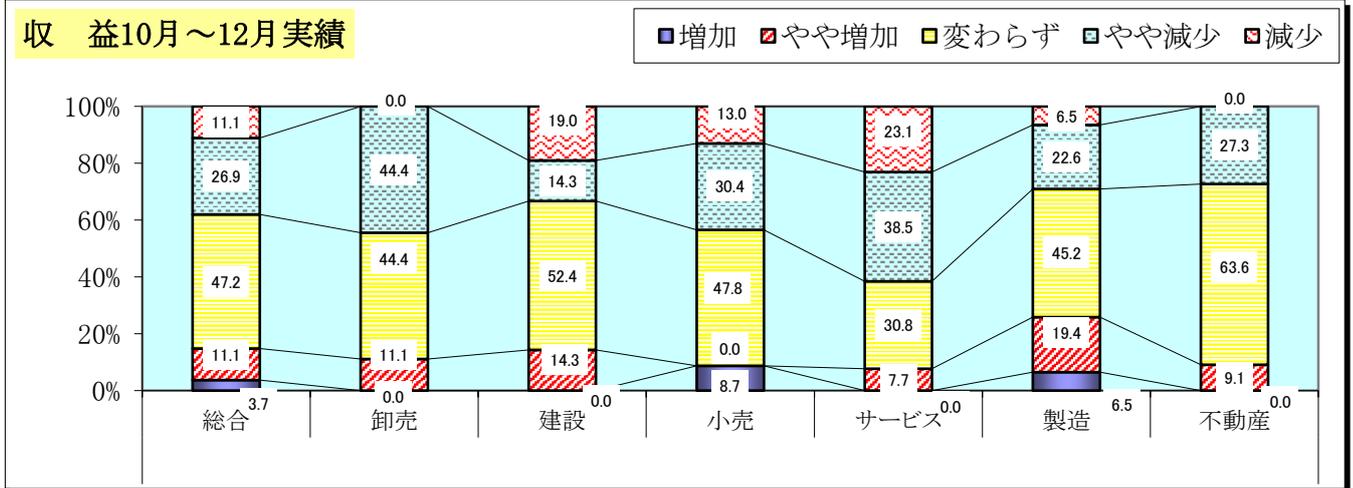
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D.I	1~3月予想D.I
7~9月実績							-28.6	
10~12月予想							-42.9	
10~12月実績		0.0	4.8	66.7	9.5	19.0	-23.7	-23.7



- 受注残(製造業、建設業のみ)D.I.は△9.6で前期実績のD.I.に対し3.9ポイント下回った。前期調査における今期の予想D.I. △19.2に対しては9.6ポイント上回りました。また、1~3月期の受注残予想D.I.は△32.7で、今期実績対比23.1ポイントの減少を予想しています。
- 施工高(建設業のみ)D.I.は△23.7で、前期実績D.I. △28.6に対し4.9ポイントの上回りとなった。前回調査における今期予想D.I. △42.9に対しても19.2ポイント上回りました。また、1~3月期の施工高予想D.I.は△23.7で、10~12月実績と同ポイントで横這いと予想しています。

(3) 収益の動き

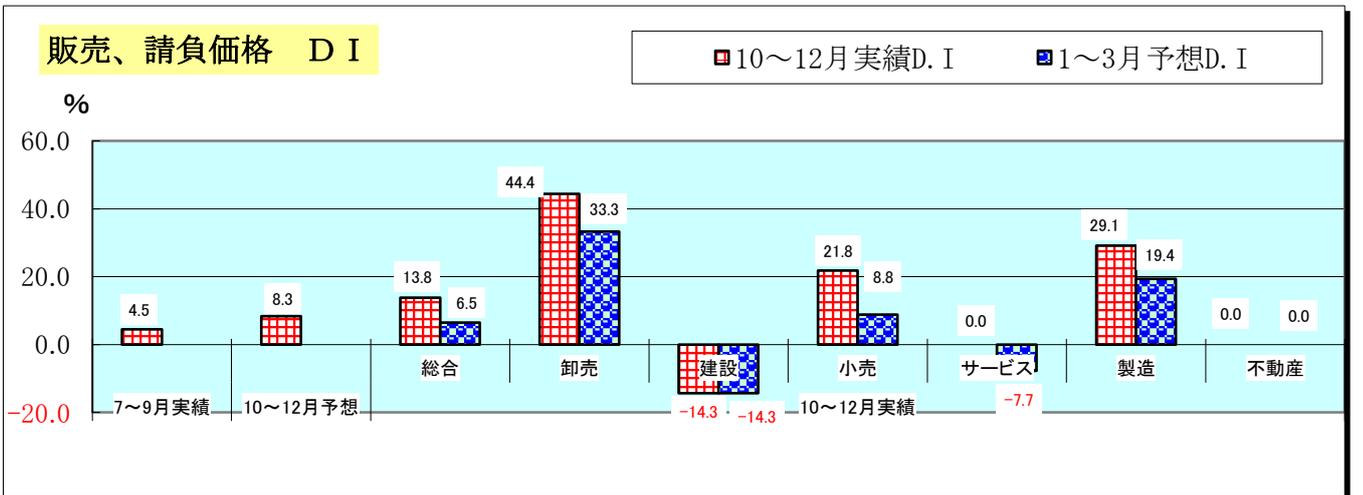
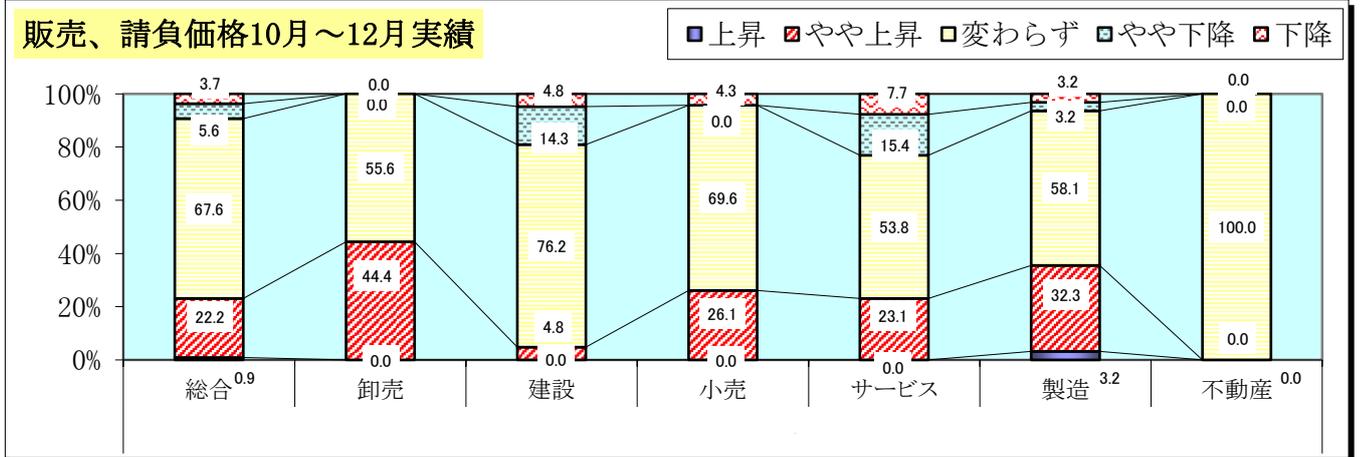
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D.I	1~3月予想D.I
7~9月実績							-11.1	
10~12月予想							-16.5	
10~12月実績	総合	3.7	11.1	47.2	26.9	11.1	-23.2	-25.0
	卸売	0.0	11.1	44.4	44.4	0.0	-33.3	-22.2
	建設	0.0	14.3	52.4	14.3	19.0	-19.0	-19.0
	小売	8.7	0.0	47.8	30.4	13.0	-34.7	-17.4
	サービス	0.0	7.7	30.8	38.5	23.1	-53.9	-30.8
	製造	6.5	19.4	45.2	22.6	6.5	-3.2	-32.3
	不動産	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2	-27.3



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は14.8%、「やや減少」「減少」した企業は38.0%でD.I.は△23.2となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △11.1から12.1ポイント下回り、前回調査における今期予想D.I. △16.5に対しても6.7ポイント下回りとなった。
- 業種別の今期D.I.は全ての業種でマイナスとなった。サービス業で△53.9、小売業で△34.7、卸売業で△33.3ポイントと減少が顕著となっている。
- 1~3月期の収益予想D.I.は△25.0で、10~12月実績より1.8ポイントの悪化と予想しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

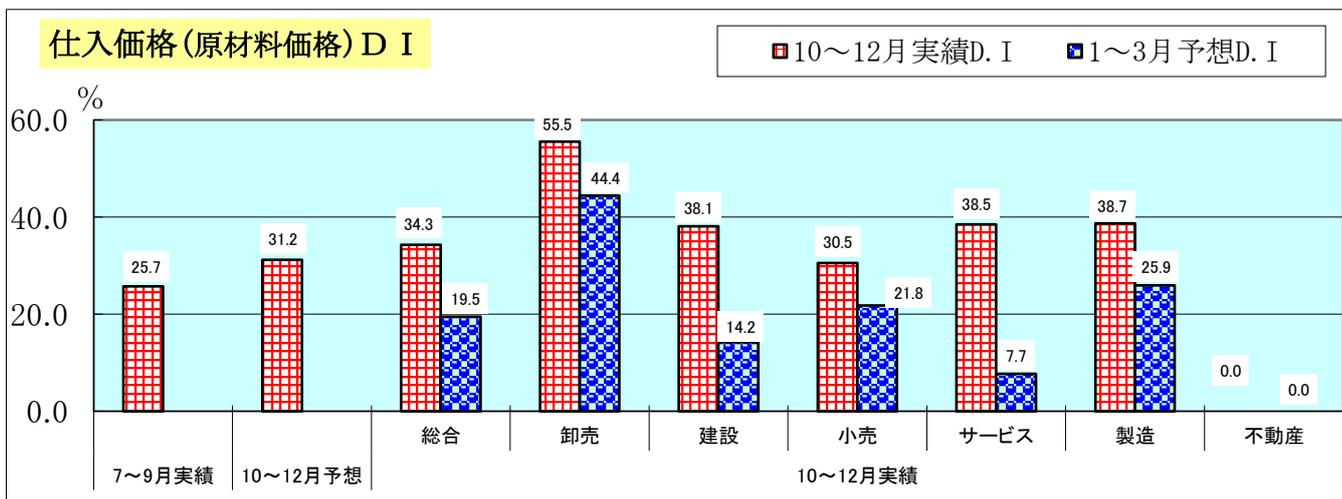
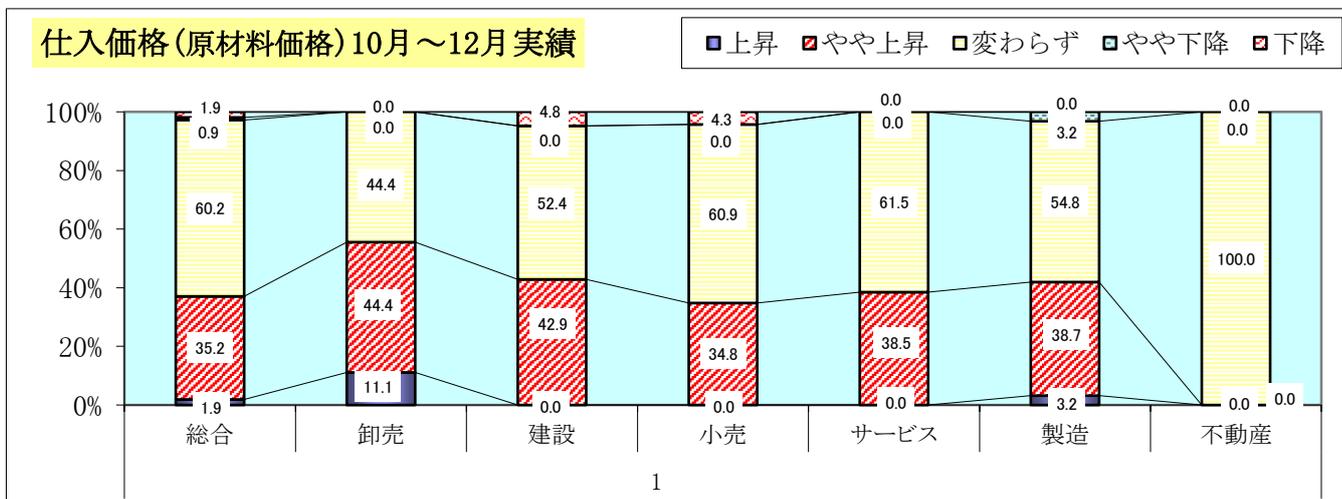
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D.I	1～3月予想D.I
7～9月実績							4.5	
10～12月予想							8.3	
10～12月実績	総合	0.9	22.2	67.6	5.6	3.7	13.8	6.5
	卸売	0.0	44.4	55.6	0.0	0.0	44.4	33.3
	建設	0.0	4.8	76.2	14.3	4.8	-14.3	-14.3
	小売	0.0	26.1	69.6	0.0	4.3	21.8	8.8
	サービス	0.0	23.1	53.8	15.4	7.7	0.0	-7.7
	製造	3.2	32.3	58.1	3.2	3.2	29.1	19.4
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が23.1%、「やや下降」「下降」と回答している企業が9.3%で、D.I.は13.8となりました。
- 今期実績は前期実績D.I.4.5から9.3ポイント上回り、前回調査における今期予想D.I.8.3ポイントより5.5ポイント上回りとなりました。
- 業種別では、建設業を除き、他は上昇又は0ポイントとなった。中でも卸売業の上昇は著しい。
- 1～3月期の販売価格予想D.I.は6.5で、10～12月期実績対比7.3ポイントの下降と予想しています。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D.I	1～3月予想D.I
7～9月実績							25.7	
10～12月予想							31.2	
10～12月実績	総合	1.9	35.2	60.2	0.9	1.9	34.3	19.5
	卸売	11.1	44.4	44.4	0.0	0.0	55.5	44.4
	建設	0.0	42.9	52.4	0.0	4.8	38.1	14.2
	小売	0.0	34.8	60.9	0.0	4.3	30.5	21.8
	サービス	0.0	38.5	61.5	0.0	0.0	38.5	7.7
	製造	3.2	38.7	54.8	3.2	0.0	38.7	25.9
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

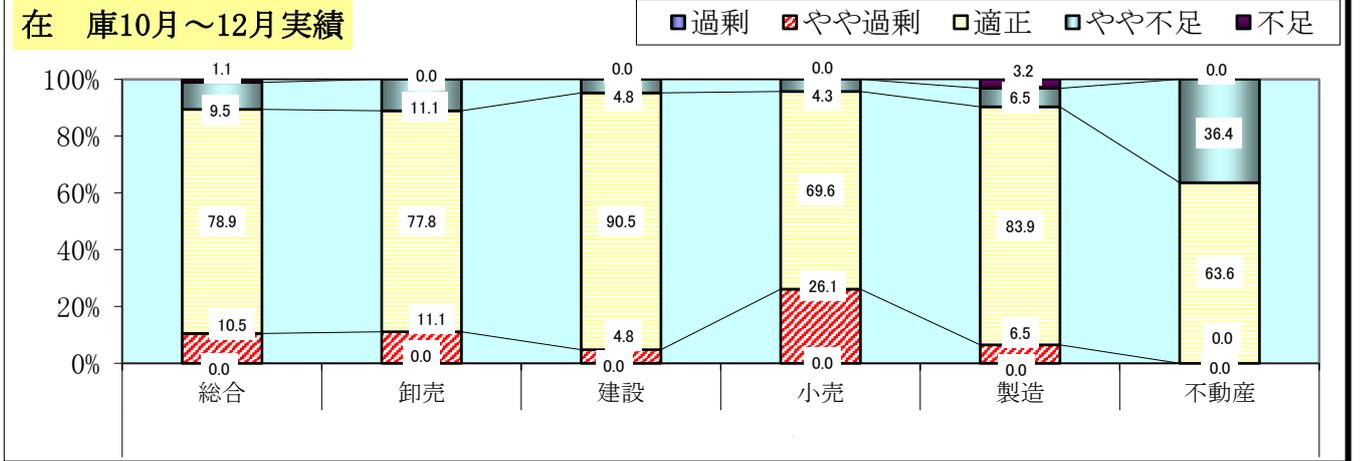


- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が37.1%、「やや下降」「下降」と回答している企業が2.8%で、今期実績D.I.は34.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I.25.7から8.6ポイント上昇し、前回調査における今期予想D.I.31.2に対しても3.1ポイントの上昇を示しました。
- 業種別では、不動産業は変化なし、他は全体的に仕入価格の上昇傾向を示しました。殊に卸売業の上昇傾向は大きかった。
- 1～3月期の予想D.I.は19.5で、10～12月期実績対比14.8ポイントの下降を予想しています。

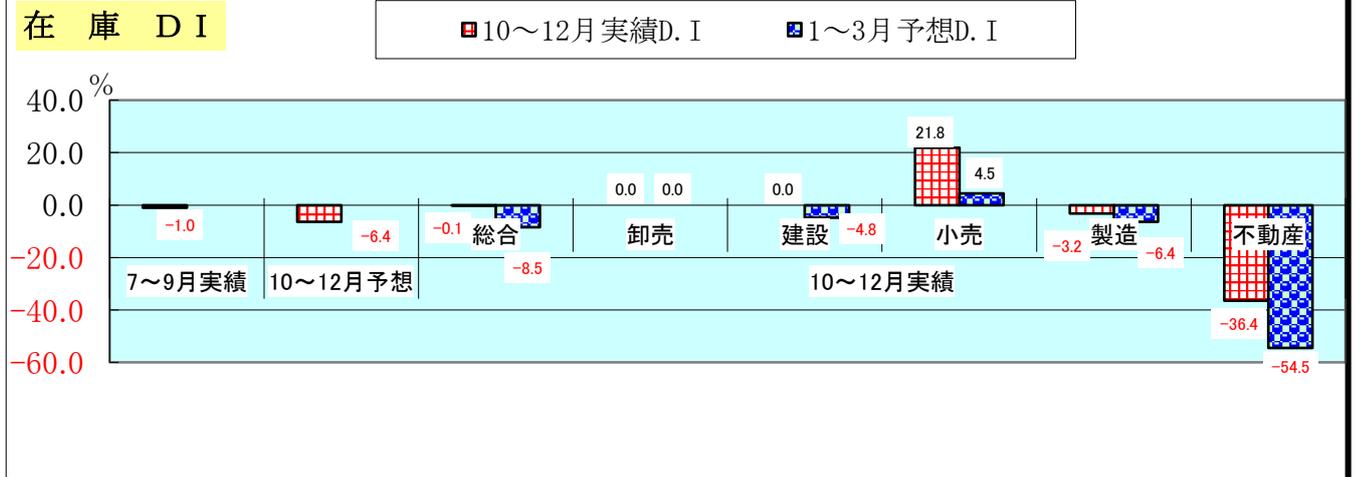
(6) 在庫の動き

在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10~12月実績D.I	1~3月予想D.I
7~9月実績							-1.0	
10~12月予想							-6.4	
10~12月実績	総合	0.0	10.5	78.9	9.5	1.1	-0.1	-8.5
	卸売	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	4.8	90.5	4.8	0.0	0.0	-4.8
	小売	0.0	26.1	69.6	4.3	0.0	21.8	4.5
	製造	0.0	6.5	83.9	6.5	3.2	-3.2	-6.4
	不動産	0.0	0.0	63.6	36.4	0.0	-36.4	-54.5

在 庫10月~12月実績



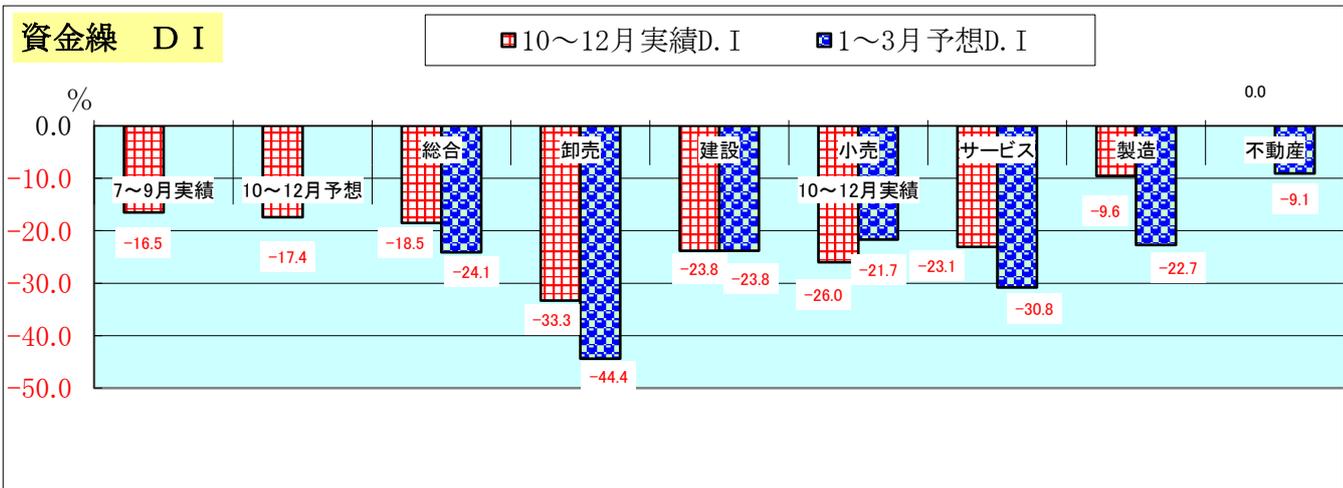
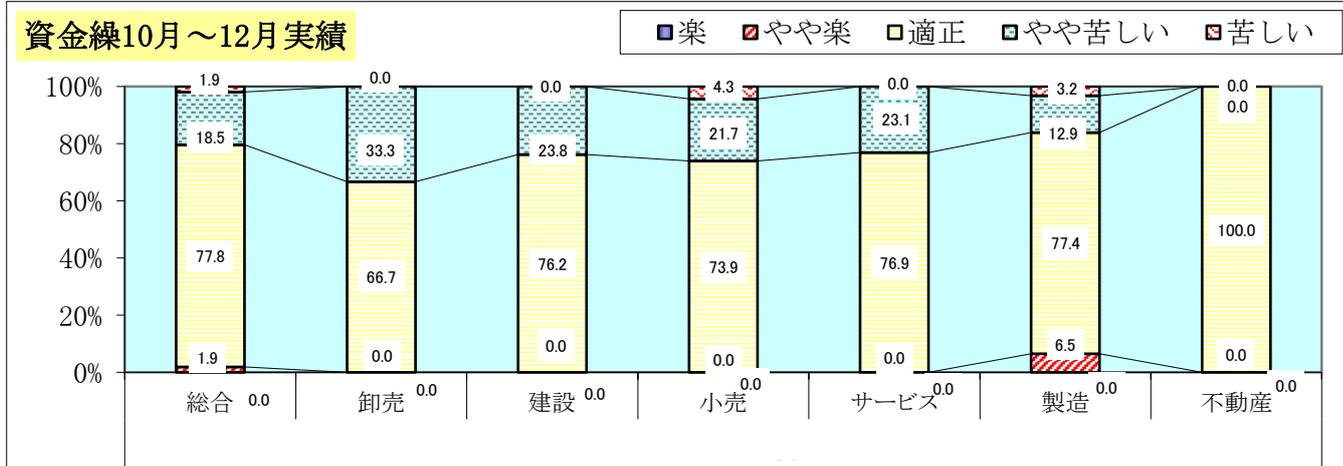
在 庫 D I



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が10.5%、「やや不足」「不足」と回答している企業が10.6%で、今期D.I.は△0.1となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △1.0から0.9ポイント不足の解消となった。前回における今期予想D.I. △6.4に対しては6.3ポイントの不足の解消を示しました。
- 業種別では、小売業で過剰を示し、卸売業・建設業では適正、他は不足傾向となっている。殊に不動産業の在庫不足が著しい。
- 1~3月期の予想D.I.は△8.5で、10~12月期実績比8.4ポイントの在庫不足傾向を予想しています。

(7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	10~12月実績D.I	1~3月予想D.I
7~9月実績							-16.5	
10~12月予想							-17.4	
10~12月実績	総合	0.0	1.9	77.8	18.5	1.9	-18.5	-24.1
	卸売	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	-33.3	-44.4
	建設	0.0	0.0	76.2	23.8	0.0	-23.8	-23.8
	小売	0.0	0.0	73.9	21.7	4.3	-26.0	-21.7
	サービス	0.0	0.0	76.9	23.1	0.0	-23.1	-30.8
	製造	0.0	6.5	77.4	12.9	3.2	-9.6	-22.7
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	-9.1



- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が1.9%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が20.4%となり、今期D.I.は△18.5となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △16.5から2.0ポイント悪化、前回調査における今期予想D.I.は△17.4からも1.1ポイントの悪化となりました。
- 業種別では、不動産業で変化なし、他業種は資金繰りが苦しい状況を示しています。
- 1~3月期の予想D.I.は△24.1で、10~12月期実績比で5.6ポイント悪化となり、次期に於いては全ての業種で資金繰り悪化が予想されます。

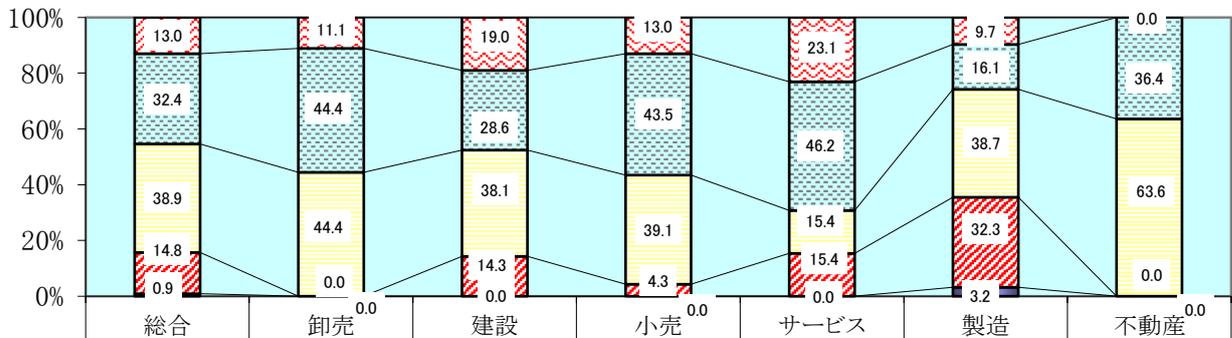
3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D.I
前年同期実績							-6.6
10~12月実績	総合	0.9	14.8	38.9	32.4	13.0	-29.7
	卸売	0.0	0.0	44.4	44.4	11.1	-55.5
	建設	0.0	14.3	38.1	28.6	19.0	-33.3
	小売	0.0	4.3	39.1	43.5	13.0	-52.2
	サービス	0.0	15.4	15.4	46.2	23.1	-53.9
	製造	3.2	32.3	38.7	16.1	9.7	9.7
	不動産	0.0	0.0	63.6	36.4	0.0	-36.4

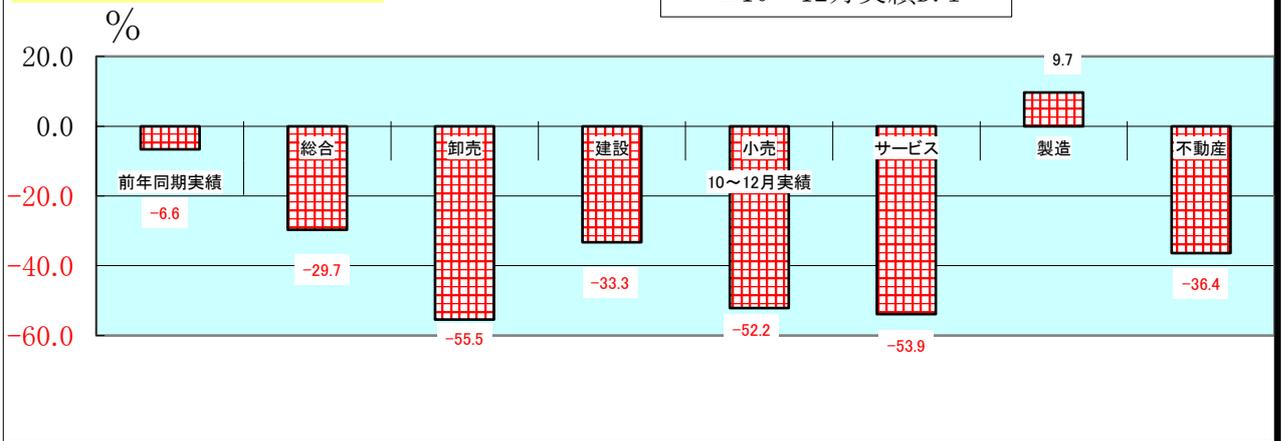
対前年同期比売上額10月~12月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比売上 D I

■10~12月実績D.I



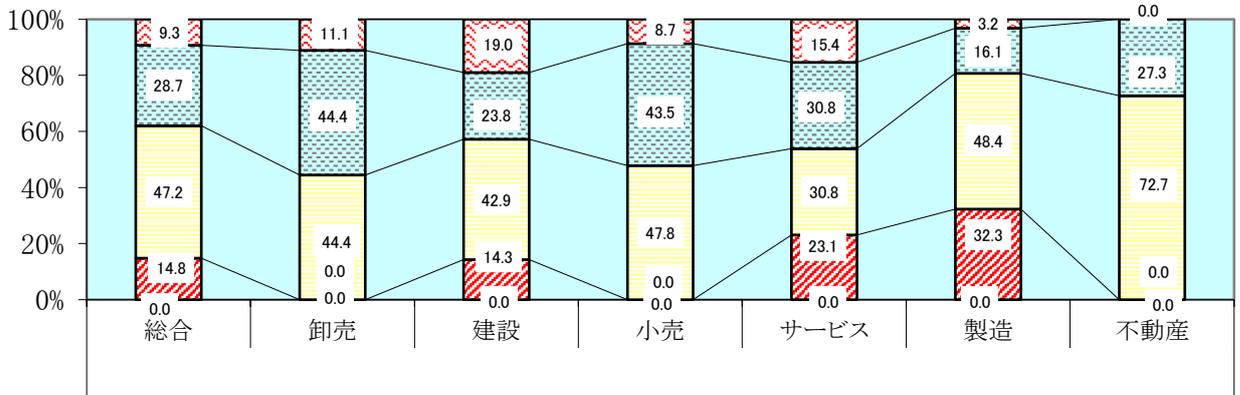
- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が15.7%、「やや減少」「減少」と回答している企業が45.4%で、今期D.I.は△29.7となりました。
- 今期実績は、前年同期実績D.I. △6.6に対し△23.1ポイントの悪化を示しました。
- 業種別では、製造業で増加となったが、他の業種で減少となった。卸売業・小売業・サービス業の減少が顕著となりました。

(2) 収益

対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D. I
前年同期実績							-10.2
10~12月実績	総合	0.0	14.8	47.2	28.7	9.3	-23.2
	卸売	0.0	0.0	44.4	44.4	11.1	-55.5
	建設	0.0	14.3	42.9	23.8	19.0	-28.5
	小売	0.0	0.0	47.8	43.5	8.7	-52.2
	サービス	0.0	23.1	30.8	30.8	15.4	-23.1
	製造	0.0	32.3	48.4	16.1	3.2	13.0
	不動産	0.0	0.0	72.7	27.3	0.0	-27.3

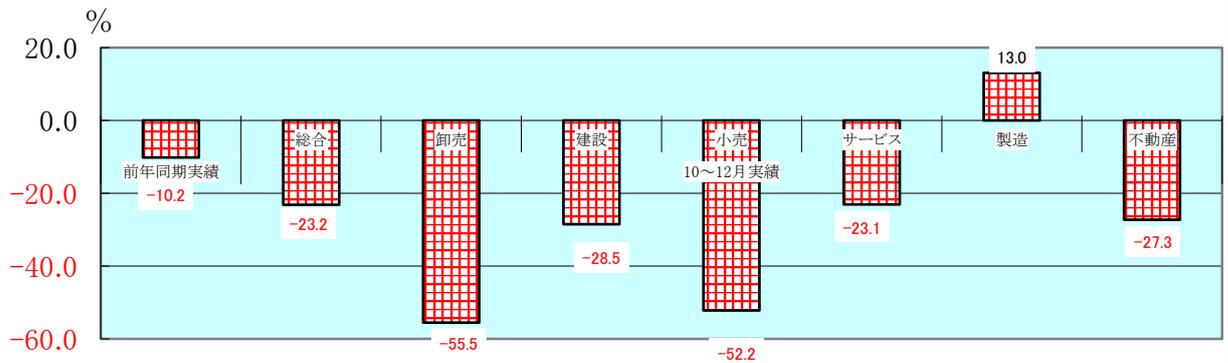
対前年同期比収益10月~12月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比収益 D I

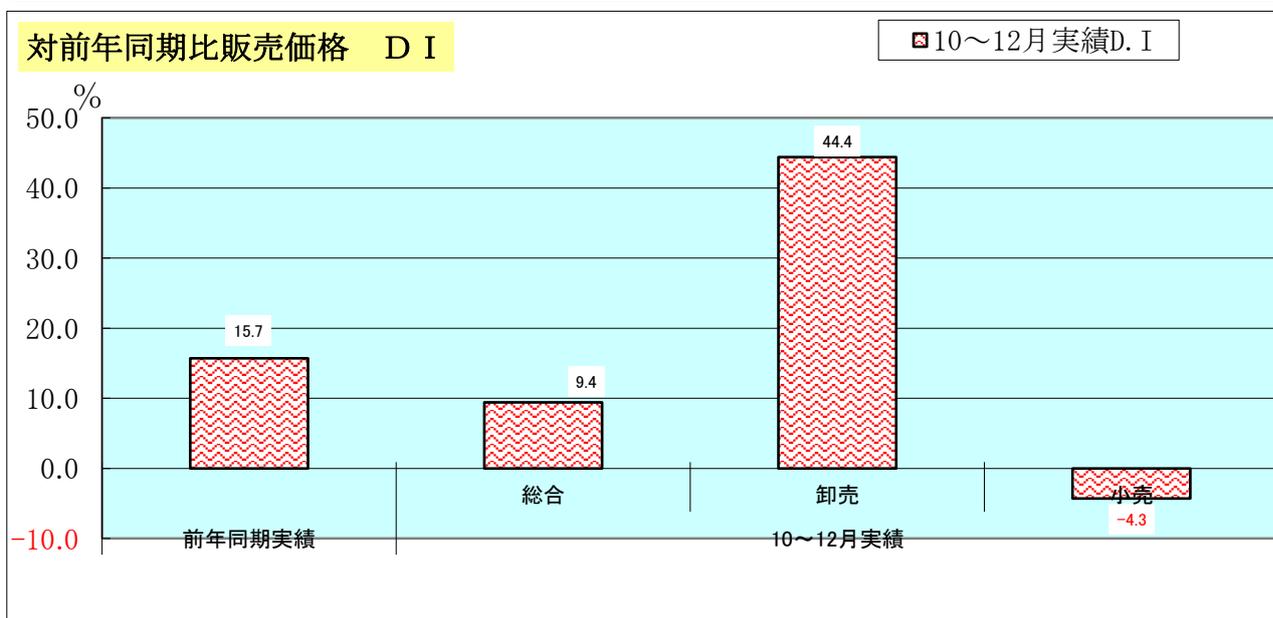
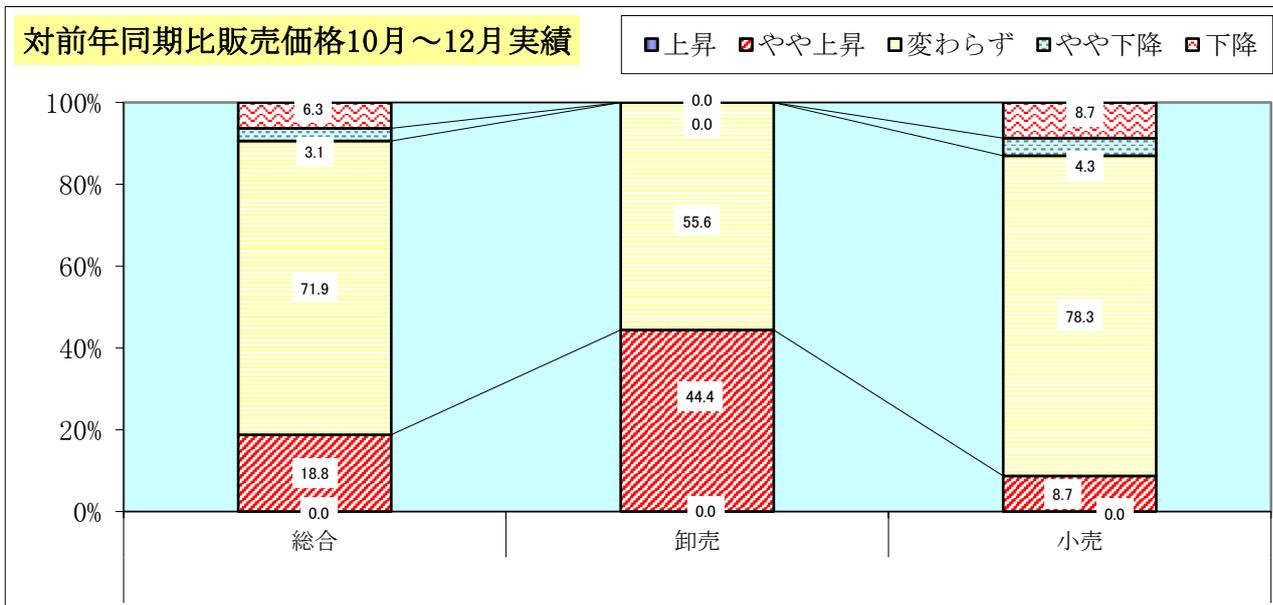
■10~12月実績D. I



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が14.8%、「やや減少」「減少」と回答している企業が38.0%で、今期D. I. は△23.2となりました。
- 今期実績は前年同期実績D. I. △10.2に対し、13.0ポイントの悪化となりました。
- 業種別では、製造業で増加となり、他業種は減少となりました。殊に卸売業と小売業は大幅減少となった。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10~12月実績D.I
前年同期実績							15.7
10~12月実績	総合	0.0	18.8	71.9	3.1	6.3	9.4
	卸売	0.0	44.4	55.6	0.0	0.0	44.4
	小売	0.0	8.7	78.3	4.3	8.7	-4.3

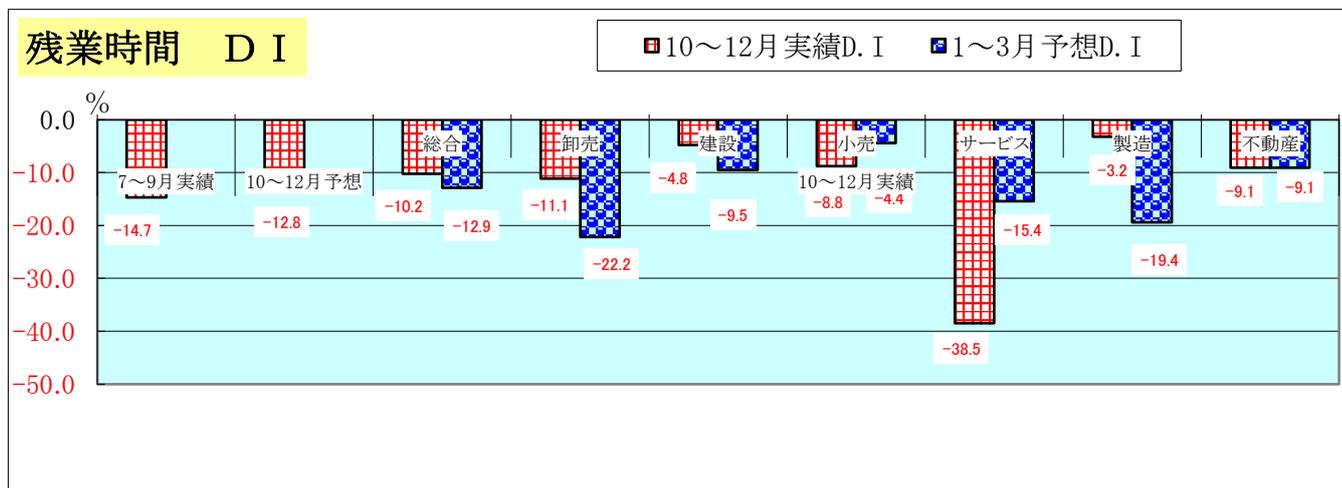
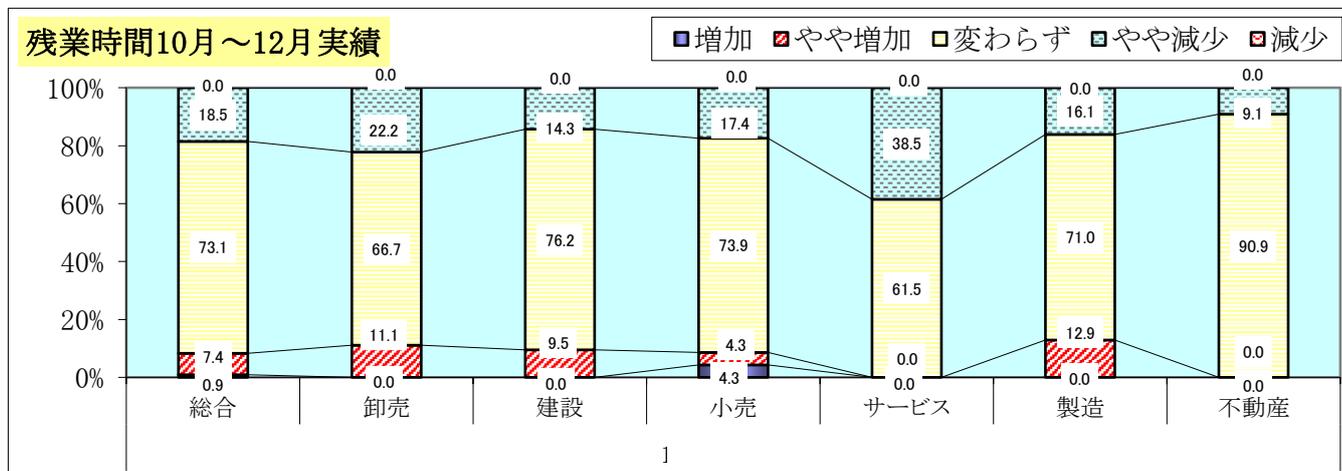


- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が18.8%、「やや下降」「下降」と回答している企業が9.4%となり、D.I.は9.4となりました。
- 今期実績は前年同期実績D.I.15.7に対し6.3ポイントの下降となりました。
- 業種別では、卸売業の販売価格は上昇し、小売業では下降となりました。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

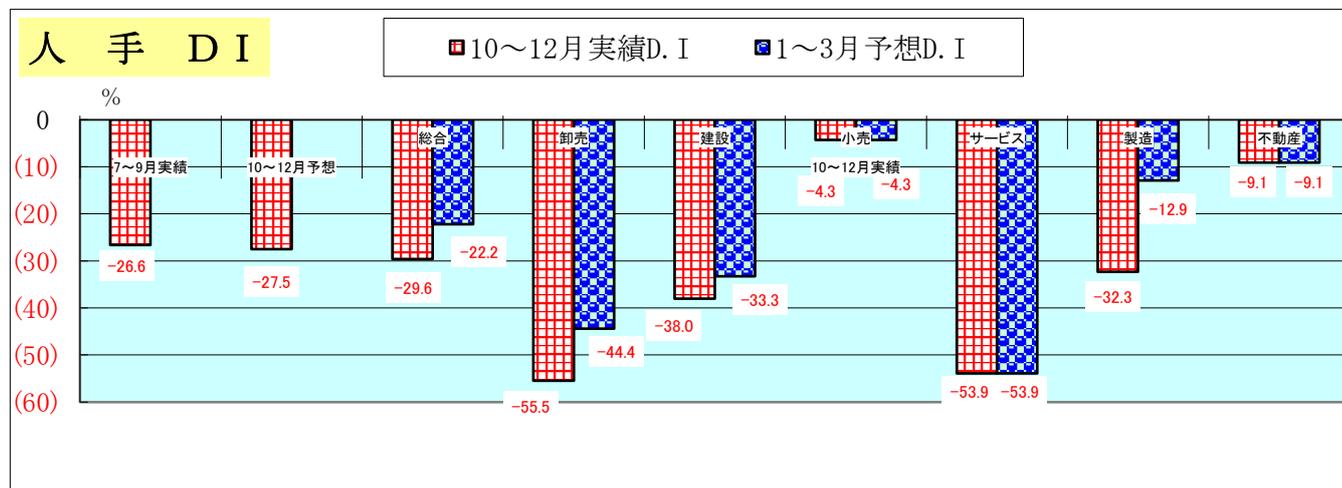
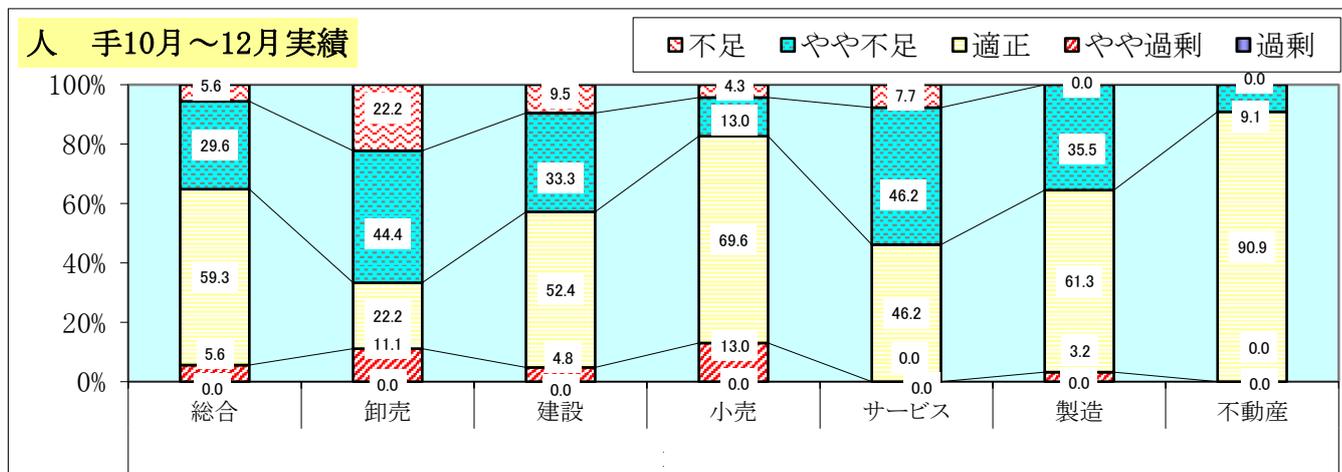
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D.I	1～3月予想D.I
7～9月実績							-14.7	
10～12月予想							-12.8	
10～12月実績	総合	0.9	7.4	73.1	18.5	0.0	-10.2	-12.9
	卸売	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	-11.1	-22.2
	建設	0.0	9.5	76.2	14.3	0.0	-4.8	-9.5
	小売	4.3	4.3	73.9	17.4	0.0	-8.8	-4.4
	サービス	0.0	0.0	61.5	38.5	0.0	-38.5	-15.4
	製造	0.0	12.9	71.0	16.1	0.0	-3.2	-19.4
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が8.3%、「やや減少」「減少」と回答している企業が18.5%でD.I.は△10.2となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △14.7に対し4.5ポイント残業時間が増加となった。前回調査における今期予想D.I.に対しても2.6ポイントの残業増加を示しました。
- 業種別では、全体的に残業は減少傾向ですが、サービス業が大幅減少を示しています。
- 1～3月期の予想D.I. △12.9で、10～12月期実績より2.7ポイントの残業減少を予想しています。

(2) 人手

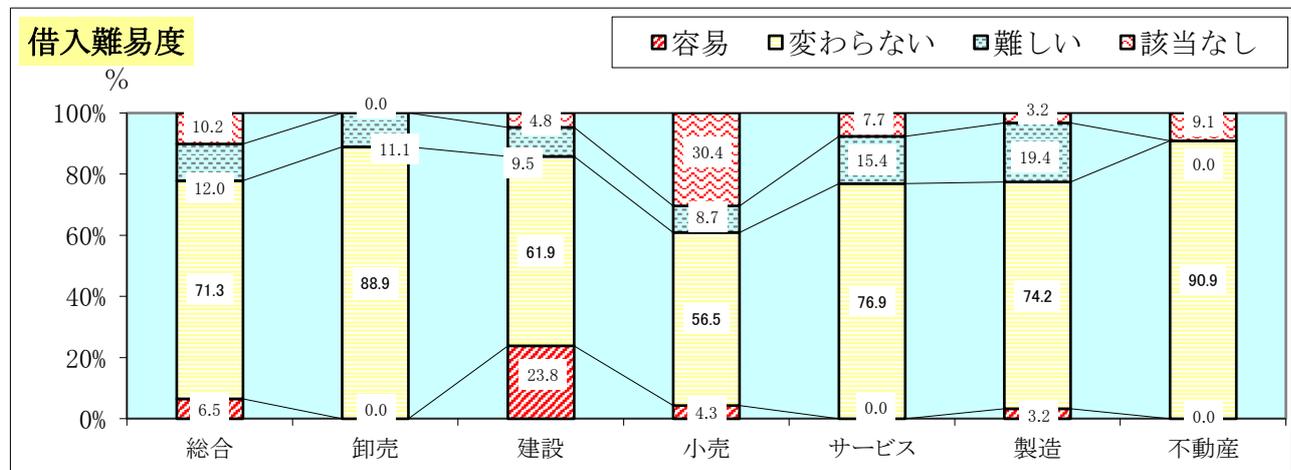
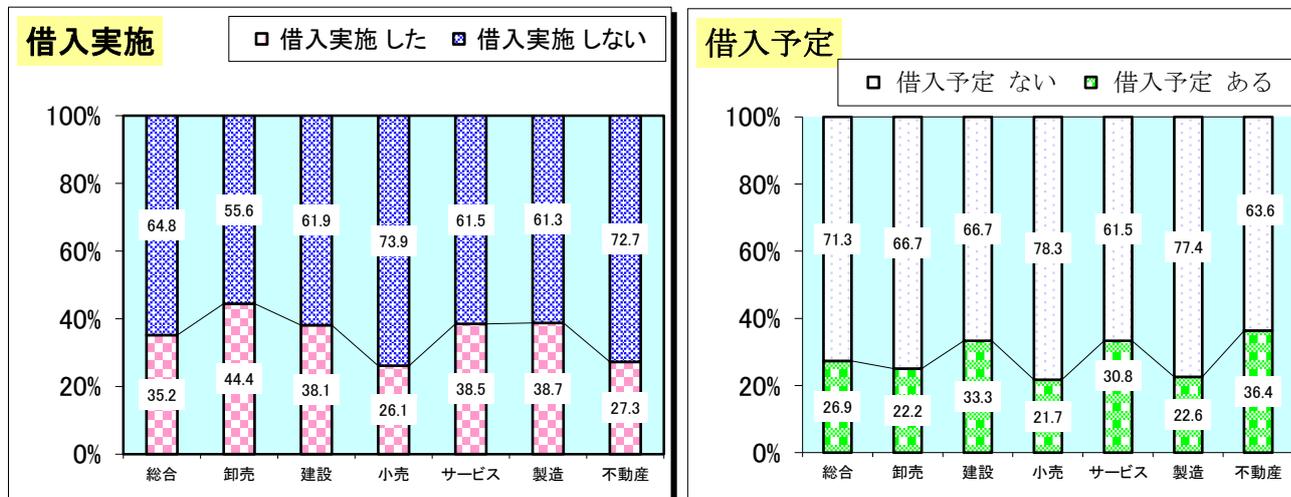
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10~12月実績D.I	1~3月予想D.I
7~9月実績							-26.6	
10~12月予想							-27.5	
10~12月実績	総合	0.0	5.6	59.3	29.6	5.6	-29.6	-22.2
	卸売	0.0	11.1	22.2	44.4	22.2	-55.5	-44.4
	建設	0.0	4.8	52.4	33.3	9.5	-38.0	-33.3
	小売	0.0	13.0	69.6	13.0	4.3	-4.3	-4.3
	サービス	0.0	0.0	46.2	46.2	7.7	-53.9	-53.9
	製造	0.0	3.2	61.3	35.5	0.0	-32.3	-12.9
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が5.6%、「やや不足」「不足」と回答している企業が35.2%で、D.I.は△29.6となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △26.6から3.0ポイント人手不足が進んだ、前回調査における今期予想D.I. △27.5に対しても、2.1ポイント人手不足が進んだ。
- 業種別では、全業種で人手不足傾向となっており、卸売業・サービス業では深刻な状況となっている。
- 1~3月期予想D.I.は△22.2で、10~12月期実績D.I.より7.4ポイントの人手不足の解消を予想しておりますが、サービス業の人手不足は次期に於いても深刻となる。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	35.2	64.8	26.9	71.3	6.5	71.3	12.0	10.2
卸売	44.4	55.6	22.2	66.7	0.0	88.9	11.1	0.0
建設	38.1	61.9	33.3	66.7	23.8	61.9	9.5	4.8
小売	26.1	73.9	21.7	78.3	4.3	56.5	8.7	30.4
サービス	38.5	61.5	30.8	61.5	0.0	76.9	15.4	7.7
製造	38.7	61.3	22.6	77.4	3.2	74.2	19.4	3.2
不動産	27.3	72.7	36.4	63.6	0.0	90.9	0.0	9.1

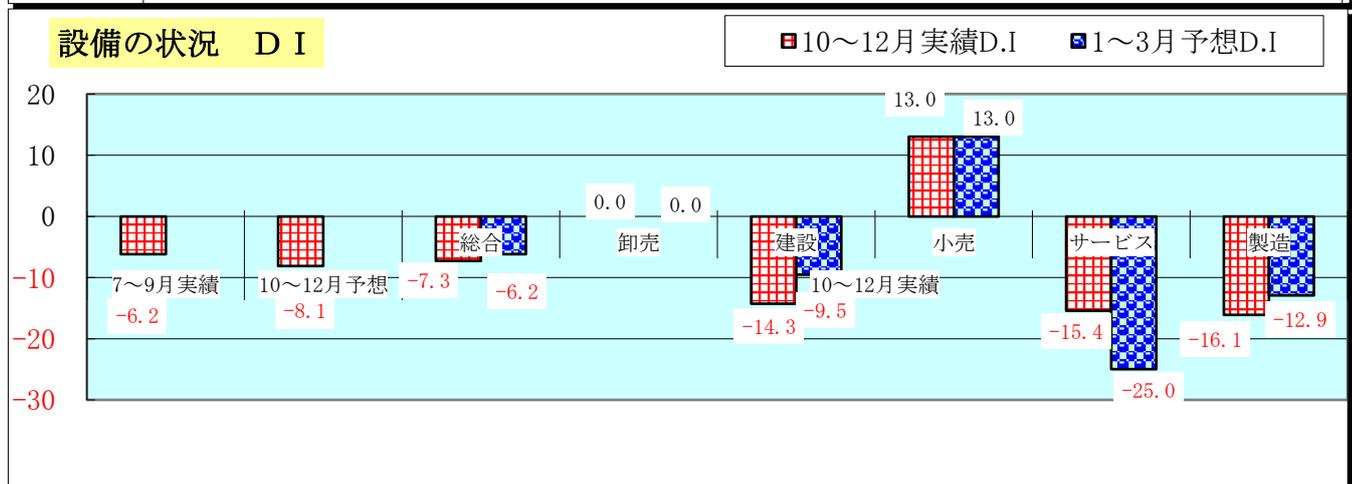
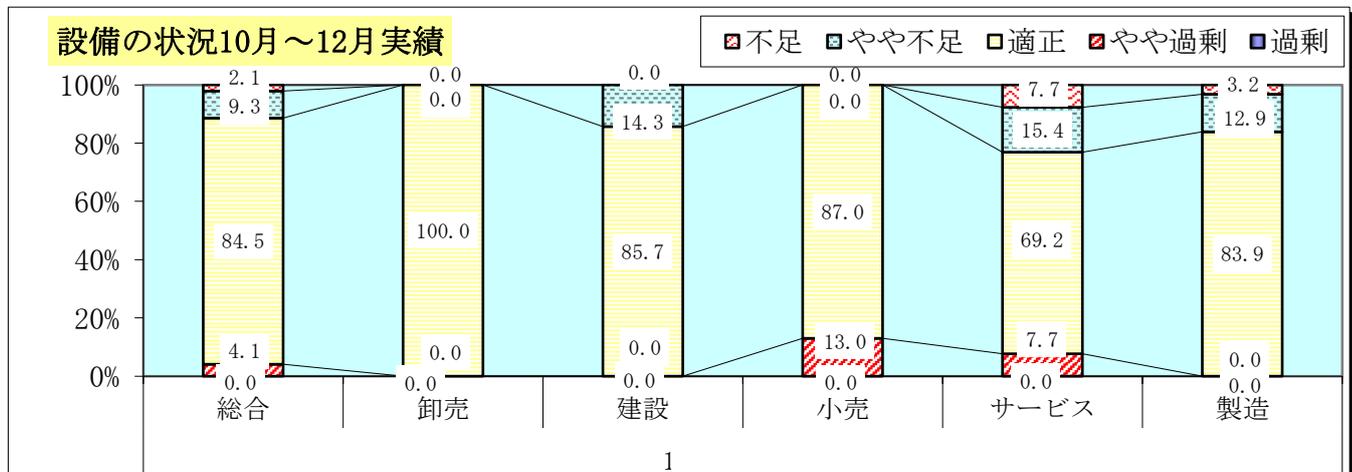


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の35.2%であり、全ての業種で借入を実施しています。前回調査では借入実施率36.7%となっています。
- 今後の借入予定では、26.9%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、不動産業36.4%、建設業33.3%、サービス業30.8%、製造業22.6%、卸売業22.2%、小売業21.7%となっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が71.3%（前回77.1%）、「容易」は6.5%（前回3.7%）、「難しい」は12.0%（前回6.4%）となっています。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10～12月実績D.I	1～3月予想D.I
7～9月実績							-6.2	
10～12月予想							-8.1	
10～12月実績	総合	0.0	4.1	84.5	9.3	2.1	-7.3	-6.2
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	-14.3	-9.5
	小売	0.0	13.0	87.0	0.0	0.0	13.0	13.0
	サービス	0.0	7.7	69.2	15.4	7.7	-15.4	-25.0
	製造	0.0	0.0	83.9	12.9	3.2	-16.1	-12.9



- 設備の状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が4.1%、「不足」「やや不足」と回答している企業が11.4%で、今期D.I.は△7.3となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △6.2に対して1.1ポイントの不足を示し、前回調査における今期予想D.I. △8.1に対しては0.8ポイントの改善となりました。
- 業種別では、卸売業では適正、小売業では過剰傾向となった。一方製造業・サービス業・建設業では不足を示している。
- 1～3月期予想D.I.は△6.2で、10～12月期実績D.I.より1.1ポイントの不足解消を予想しています。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
10～12月(件数) 総合	2	6	5	7	7	1	75
卸売	0	1	0	1	0	0	8
建設	1	4	3	3	3	0	11
小売	1	-	-	0	3	1	18
サービス	0	1	0	2	0	0	10
製造	0	0	2	1	1	0	28

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	0	3	4	4	7	0	86
卸売	0	1	0	1	0	0	8
建設	0	1	2	1	3	0	17
小売	0	-	-	1	1	0	21
サービス	0	1	1	0	1	0	12
製造	0	0	1	1	2	0	28

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ28件で前期の36件を8件下回りました。業種別内訳では、建設業14件、小売業5件、製造業4件、サービス業3件等となっています。実施した設備内容は「事務機器」・「車両」共に7件、「機械新增設」6件、「機械更改」5件、「土地建物」2件、「その他」1件となっています。
- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した件数は延べ18件となっています。業種別内訳では建設業7件、製造業4件、サービス業3件、卸売業・小売業が各2件予定されています。設備投資計画の内容を見ると、「車両」7件、「機械更改」・「事務機器」が各4件、「機械新增設」3件を予定しています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	4	5	10	7	9	12	8	8	13	14	3	5	47	51	18.4	19.8
同業者間の競争激化	0	0	4	3	2	5	2	1	2	3	2	4	12	16	4.7	6.2
利幅の縮小	3	2	5	5	5	6	3	3	10	11	2	1	28	28	10.9	10.9
人件費の増加	2	2	4	4	2	1	5	2	6	3	2	2	21	14	8.2	5.4
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	1	1	0	0	0	0	5	4	7	7	0	0	13	12	5.1	4.7
人件費以外の経費の増加	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	1	5	2	2.0	0.8
大手企業（大型店）との競争激化	1	2	1	0	4	3	3	0	0	0	0	0	9	5	3.5	1.9
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	4	1	1.6	0.4
天候の不順	0	0	1	1	3	3	1	0	3	2	0	0	8	6	3.1	2.3
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.4	0.4
原材料高・材料価格の上昇	0	0	6	5	0	0	3	4	11	13	0	0	20	22	7.8	8.5
地場産業の衰退	1	0	2	3	1	3	1	0	2	3	0	0	7	9	2.7	3.5
集客力の低下	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1.2	0.4
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
販売商品の不足・商品物件の不足	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	5	3	8	6	3.1	2.3
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	3	0.4	1.2
人手不足	2	4	11	11	5	7	4	4	6	10	2	0	30	36	11.7	14.0
商圏人口の減少	0	0	0	0	10	9	2	3	0	0	0	0	12	12	4.7	4.7
取引先の減少	2	2	0	0	3	4	1	0	0	0	0	0	6	6	2.3	2.3
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	2	4	0	0	0	1	2	3	0	0	4	8	1.6	3.1
輸入製品（商品）との競争激化	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	1	1.6	0.4
問題なし	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	3	4	1.2	1.6
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0.8	0.4
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0.0	0.8
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
仕入先からの値上り要請	1	2	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	4	3	1.6	1.2
下請けの確保難	0	0	2	5	0	0	0	0	1	1	0	0	3	6	1.2	2.3
合計	22	24	49	49	50	60	40	32	76	75	19	18	256	258	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」	51 件	*前期*	第1位～ 「売上の停滞・減少」	47 件
第2位～ 「人手不足」	36 件		第2位～ 「人手不足」	30 件
第3位～ 「利幅の縮小」	28 件		第3位～ 「利幅の縮小」	28 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
製造業	売上の停滞・減少	14	原材料高・材料価格の上昇	13	利幅の縮小	11
小売業	売上の停滞・減少	12	商圏人口の減少	9	人手不足	7
建設業	人手不足	11	売上の停滞・減少	7	原材料高・材料価格の上昇、利幅縮小、下請けの確保難	5
サービス業	売上の停滞・減少	8	店舗設備の狭小・老朽化、原材料価格上昇	4	人手不足	4

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	5	4	11	10	14	16	9	5	16	16	3	3	58	54	22.6	22.2
販路を広げる	7	4	6	7	0	0	3	2	15	16	2	2	33	31	12.8	12.8
情報力を強化する	1	1	5	4	0	0	0	0	5	6	6	5	17	16	6.6	6.6
人材を確保する	4	4	11	9	7	6	6	5	13	12	3	3	44	39	17.1	16.0
技術力を強化（高める）	0	0	9	7	0	0	2	1	0	0	0	0	11	8	4.3	3.3
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	0	11	11	4.3	4.5
機械化を推進する	0	0	0	0	1	1	0	0	2	3	1	0	4	4	1.6	1.6
パート化を図る	2	2	1	2	4	3	2	4	1	1	2	1	12	13	4.7	5.3
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	1	2	0	0	3	3	1	1	0	1	5	7	1.9	2.9
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	2	3	0.8	1.2
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	3	1.2	1.2
新しい事業を始める	0	0	0	0	1	3	7	7	0	0	3	2	11	12	4.3	4.9
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	3	2	1.2	0.8
その他	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	1	1.2	0.4
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	7	6	0	0	0	0	0	0	7	6	2.7	2.5
特になし	1	0	2	2	2	2	0	0	1	0	3	2	9	6	3.5	2.5
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	2	0	4	3	0	0	0	0	6	3	2.3	1.2
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1.2	1.6
輸入品の取扱を増やす	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	2	3	0.8	1.2
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	0.8	1.6
営業時間を延長する	2	2	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	7	5	2.7	2.1
提携先を見つける	1	2	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	3	5	1.2	2.1
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
労働条件を改善する	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
教育訓練を強化する	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
合計	23	23	52	46	49	48	38	32	72	74	23	20	257	243	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 54 件
 第2位～ 「人材を確保する」 39 件
 第3位～ 「販路を広げる」 31 件

前期

第1位～ 「経費を節減する」 58 件
 第2位～ 「人材を確保する」 44 件
 第3位～ 「販路を広げる」 33 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位	
製造業	経費を節減する、 販路を広げる	16	人材を確保する	12
建設業	経費を節減する	10	人材を確保する	9
小売業	経費を節減する	16	人材を確保する、売れ筋商品を取扱う	6
サービス業	新しい事業を始める	7	経費を節減する、人材を確保する	5

特別調査

「2020年（令和2年）の経営見通し」

問 1 貴社では、2020年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い			
合計（構成比）	0.0%	1.9%	15.7%	32.4%	41.7%	8.3%	0.0%			
総合	0	2	17	35	45	9	0			
卸売	0	0	1	2	3	3	0			
建設	0	0	4	8	8	1	0			
小売	0	1	4	4	12	2	0			
サービス	0	0	2	6	4	1	0			
製造	0	1	4	13	11	2	0			
不動産	0	0	2	2	7	0	0			

上記質問で「やや悪い」は45先と一番多く、次いで「普通」は35先、「やや良い」は17先、「悪い」は9先、「良い」は2先で「非常に良い・非常に悪い」を選択した企業はなかった。1.7は選択なし。2.については、小売・製造が各1先となった。3.については、建設・小売・製造各4先、サービス・不動産が各2先、卸売が1先となった。4.については、製造が13先、建設が8先、サービスが6先、小売が4先、卸売・不動産が各2先となった。5.については、小売が12先、製造が11先、建設が8先、不動産が7先、サービスが4先、卸売が3先となった。6.については、卸売が3先、小売・製造が各2先、建設・サービスが各1先となった。

問 2 貴社では、2020年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い			
合計（構成比）	0.0%	3.7%	6.5%	50.9%	30.6%	8.3%	0.0%			
総合	0	4	7	55	33	9	0			
卸売	0	0	1	4	3	1	0			
建設	0	0	2	13	3	3	0			
小売	0	1	1	9	9	3	0			
サービス	0	1	0	6	6	0	0			
製造	0	1	3	14	11	2	0			
不動産	0	1	0	9	1	0	0			

上記の質問で「普通」は55先、次いで「やや悪い」33先、「悪い」9先、「やや良い」7先、「良い」4先で「非常に良い・非常に悪い」を選択した企業はなかった。2.については、小売・サービス・製造・不動産で各1先となった。3.については、製造が3先、建設が2先、卸売・小売が各1先となった。4.については、製造が14先、建設が13先、小売・不動産が各9先、サービスが6先、卸売が4先となった。5.については、製造が11先、小売が9先、サービスが6先、卸売・建設が各3先、不動産が1先となった。6.については、建設・小売が各3先、製造が2先、卸売が1先となった。

問 3 2020年において貴社の売上額の伸び率は、2019年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 30%以上の増加	2. 20~29%の増加	3. 10~19%の増加	4. 10%未満の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	7. 10~19%の減少	8. 20~29%の減少	9. 30%以上の減少	
合計（構成比）	0.9%	0.0%	0.9%	13.0%	47.2%	23.1%	8.3%	1.9%	4.6%	
総合	1	0	1	14	51	25	9	2	5	
卸売	0	0	0	1	3	2	3	0	0	
建設	0	0	0	1	12	4	0	0	4	
小売	1	0	0	0	11	6	4	1	0	
サービス	0	0	0	2	5	6	0	0	0	
製造	0	0	1	7	14	5	2	1	1	
不動産	0	0	0	3	6	2	0	0	0	

上記の質問で「変わらない」は51先、次いで「10%未満減少」25先、「10%未満増加」14先、「10~19%減少」9先、「30%以上減少」5先、「20~29%減少」2先、「30%増加・10~19%増加」は各1先となった。1.については、小売が1先となった。2.については選択がなかった。3.については、製造が1先となった。4.については、製造が7先、不動産が3先、サービスが2先、卸売・建設が各1先となった。5.については、製造が14先、建設が12先、小売が11先、不動産が6先、サービスが5先、卸売が3先となった。6.については、小売・サービスが各6先、製造が5先、建設が4先、卸売・不動産が各2先となった。7.については、小売が4先、卸売が3先、製造が2先となった。8.については、小売・製造が各1先となった。9.については、建設が4先、製造が1先となった。

問 4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. すでに上向 いている	2. 6か月以内	3. 1年後	4. 2年後	5. 3年後	6. 3年超	7. 業況改善の 見通しは立 たない			
合計（構成比）	10.2%	2.8%	24.1%	4.6%	12.0%	13.0%	33.3%			
総合	11	3	26	5	13	14	36			
卸売	0	0	2	1	2	2	2			
建設	4	0	1	0	5	4	7			
小売	0	1	4	3	1	1	13			
サービス	1	0	5	1	1	2	3			
製造	6	0	10	0	2	4	9			
不動産	0	2	4	0	2	1	2			

上記の質問に対して、「業況改善の見通しは立たない」36先、「1年後」26先、「3年超」14先、「3年後」13先、「すでに上向いている」11先、「2年後」5先、「6か月以内」3先との結果となった。1.については、製造が6先、建設が4先、サービスが1先となった。2.については、不動産が2先、小売が1先となった。3.については、製造が10先、サービスが5先、小売・不動産が各4先、卸売が2先、建設が1先となった。4.については、小売が3先、卸売・サービスが各1先となった。5.については、建設が5先、卸売・製造・不動産が各2先、小売・サービスが各1先となった。6.については、建設・製造が各4先、卸売・サービスが各2先、小売・不動産が各1先となった。7.については、小売が13先、製造が9先、建設が7先、サービスが3先、卸売・不動産が各2先となった。

問 5 10月以降の貴社の経営は、消費税引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。受けている影響とその理由について、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	見通しより良い影響					見通しと 変わらない	見通しより悪い影響			
	1. ポイント還 元制度	2. 食品等の軽 減税率	3. 自動車・住 宅等の各種 税制優遇措 置	4. 特需の発生	5. その他 ()		6. 変わらない	7. 売上の減少	8. 利幅の縮小	9. 事務負担の 増加
合計（構成比）	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	76.9%	10.2%	6.5%	5.6%	0.0%
総合	0	0	0	1	0	83	11	7	6	0
卸売	0	0	0	0	0	5	1	1	2	0
建設	0	0	0	0	0	17	2	0	2	0
小売	0	0	0	1	0	15	5	2	0	0
サービス	0	0	0	0	0	8	1	3	1	0
製造	0	0	0	0	0	27	2	1	1	0
不動産	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0

上記の質問に対して、「見通しより良い影響」については、4.で小売が1先の回答のみとなった。「見通しと変わらない」については総数83先で、製造が27先、建設が17先、小売が15先、不動産が11先、サービスが8先、卸売が5先となった。

「見通しより悪い影響」については総数24先で、7.については11先で、小売が5先、建設・製造が各2先、卸売・サービスが各1先となった。8.については7先で、サービスが3先、小売が2先、卸売・製造が各1先となった。9.については6先で、卸売・建設が各2先、サービス・製造が各1先となった。